

第 34 回交通工学研究発表会 開催のお知らせ

第 34 回交通工学研究発表会につきましては、各分野の研究者・実務者から多数の論文応募を頂き、下記のとおり開催する運びとなりました。会員の皆様方をはじめ関係各位多数のご聴講と活発なご意見の交換を期待しておりますので、奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

なお、当会の自主研究活動につきまして、前年度に終了した研究の活動報告をいたします。研究発表会にご参加の方々にも交通工学研究会の活動を知って頂く機会として、多くの方々にご参会いただきますようご案内いたします。

1. 主 催 : 一般社団法人 交通工学研究会
2. 開 催 日 : 平成 26 年 8 月 7 日 (木) ~ 8 日 (金) [受付開始 9:00]
3. 会 場 : 日本大学理工学部駿河台キャンパス 1 号館 (東京都千代田区神田駿河台 1-8-14)
JR 中央・総武線御茶ノ水駅 徒歩 3 分、東京メトロ新御茶ノ水駅 徒歩 3 分、都営新宿線小川町駅 徒歩 4 分
4. プログラム : 当会ホームページでご確認ください。
5. 参 加 費 : 発表者、聴講者 共通 (いずれも論文集代 (CD-ROM)、消費税を含む)
①請求払い : 会員 6,172 円 一般 9,257 円 学生会員 3,086 円
※請求書を発行しますので、郵便振替または銀行振込でお手続き下さい。振込手数料はご負担願います。
②現金払い : 会員 6,300 円 一般 9,400 円 学生会員 3,200 円
※当日会場受付で現金でお支払い願います。お釣りの無いようご準備願います。
●お申込み後の支払い方法の変更はご遠慮願います。
6. 申込方法 : 参加申込書にご記入の上、当会宛に FAX または郵送願います。メールでお申込みされる場合は、参加申込書を参考に必要事項を記載の上、メールタイトルを「第 34 回交通工学研究発表会申込」とし、event@jste.or.jp 宛に送信下さい。
7. お 願 い : 当日の参加申込みは、受付混雑時にはお待ちいただく事もございますので、事前にお申込みいただきますよう、ご協力をお願いいたします。
会場で論文の打ち出し原稿の配布は行っておりませんので、各自ペーパーやデータ等でご準備をお願いいたします。

● 交通工学研究発表会 懇親会

交通工学研究発表会では、参加者及び会員相互の親睦を深めることを目的に懇親会を行っており、毎回ご出席された皆様方には大変ご好評を頂いております。多くの方々のご参加をお待ちしております。

開 催 日 : 平成 26 年 8 月 7 日 (木) 17:45~

会 場 : 日本大学理工学部駿河台キャンパス 1 号館 2 階 カフェテリア (学生食堂)

会 費 : 3,000 円 (消費税込。立食形式です。当日懇親会場にて現金でお支払い願います。)

申込方法 : 発表会へのお申込み時に、懇親会参加希望欄にご記入下さい。懇親会のみのお申込みも歓迎いたします。

● 交通工学研究会 自主研究活動報告

交通工学研究会では、公益事業の一環として自主研究を行っています。平成 25 年度末で終了した自主研究は交通工学研究発表会の発表会場で口頭報告されます。今回ご報告する自主研究は下記のとおりです。

・交通事故ハザード評価法の新規開発と個人対応型対策の実証的研究 (代表: 朴啓彰/高知工科大学)【公募型研究】

● 交通工学研究会 個人会員入会キャンペーンのお知らせ

当会では、7 月 1 日~8 月 6 日に個人会員への入会手続き頂いた方に限り、第 34 回交通工学研究発表会参加費を免除するキャンペーンを実施いたします (論文集 CD-ROM は実費頒布)。この機会に是非個人会員への入会をご検討下さい。詳しくは、ホームページをご覧ください。

● 当会出版の書籍について

会場では、当会の書籍を割引価格にて販売いたしております。この機会に図書販売コーナーへ是非お越し下さい。

● 第 4 回 TOP/TOE 会

2 日目の昼休みには、同会場において TOP/TOE 資格登録者および学識者などと交流して頂く『第 4 回 TOP/TOE 会』を開催いたします。詳しくは、開催案内をご覧ください。

お申込み・お問合わせ

一般社団法人 交通工学研究会

<http://www.jste.or.jp/>

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-23 錦町 MK ビル 5 階 Tel 050-5507-7153 Fax 03-6410-8718

参加希望の方は事前にお申込みをお願いいたします。

当日の受付の混雑緩和のためご協力をよろしくお願いいたします。

第34回交通工学研究発表会 参加申込書

■申込先FAX番号：03-6410-8718

勤務先住所	〒				《電話番号》
勤務先名称					
参加者氏名	所属部課名	会員区分(○印)	会員番号	懇親会参加(○印)	
		正会員・特別会員 学生会員・非会員		する・しない	
		正会員・特別会員 学生会員・非会員		する・しない	
		正会員・特別会員 学生会員・非会員		する・しない	
希望の支払い方法に○	その他(請求書発行に関するご要望など)				
①請求払い	②現金払い				

- ◆ 7月下旬より順次、論文集(CD-ROM)と共に参加カード等書類をお送りいたしますので(請求払い希望の方へは、見積書・請求書・納品書も同封)、お手元に書類が届き次第、ご確認をお願いいたします。
参加カードは当日、名札と引換となりますので、必ずお持ち下さい(お忘れの場合、受付でお待ちいただく事もあります)。
会場へご出発の時になっても書類が届かない場合は事務局までご連絡下さい。
 - ◆ お支払いは、①請求払いを希望された方は、郵便振替または銀行振込にてお手続き願います(振込手数料はご負担願います)。
②現金払いを希望された方は、発表会の当日、受付でお支払い願います。お釣りの無い様ご準備願います。
 - ◆ お申込み後のお支払い方法の変更はご遠慮願います。
 - ◆ お申込み後、本人が止むを得ない理由により参加できなくなった場合、または代理の方に変更される場合は、必ず事前に事務局にご連絡をお願いいたします。
 - ◆ 事前申込みをされた方で当日ご欠席された場合は、お申込み時に選択された支払い方法の参加費をお支払い願います。
 - ◆ 悪天候時の対応など、緊急の連絡は、当会ホームページ <http://www.jste.or.jp/> の新着情報欄にてお知らせいたします。
- ★8月1日正午までに確認ができたお申込み分については、論文集(CD-ROM)及び書類等を事前発送いたします。それ以降にお申込みの方は、当日渡しとなりますので、会場受付でお申込み人のお名前をお伝え下さい。

会場案内図

住所：千代田区神田駿河台1-8-14



交通のご案内

●アクセス●

- ・JR中央・総武線 御茶ノ水駅 徒歩3分
- ・東京メトロ 御茶ノ水駅 徒歩5分
- ・東京メトロ 新御茶ノ水駅 徒歩3分
- ・都営新宿線 小川町駅 徒歩4分

●乗り換え案内●

- ・東京駅から(約5分)
東京駅 - <JR中央線または東京メトロ丸の内線> - 御茶ノ水駅
- ・羽田空港から(約45分)

【モノレール】

- 羽田空港(第1ビル・第2ビル)駅 - <東京モノレール> - 浜松町駅 - <JR山手線または京浜東北線> - 東京駅 - <JR中央線> - 御茶ノ水駅

【京浜急行】

- 羽田空港国内線ターミナル駅 - <京浜急行線(都営浅草線直通)> - 三田駅 - <都営三田線> - 神保町駅 - <都営新宿線> - 小川町駅

第34回交通工学研究発表会 第1日目【2014年8月7日(木)】プログラム

○は発表者

《第1会場》

《第2会場》

《第3会場》

《第4会場》

1. 交通制御・交通規制 座長：萩原 亨(北海道大学) 副座長：八幡 善治(警視庁交通管課)			
9:30	1	守山市立田町ラウンドアバウトの社会実験に関する報告	○川端 和行 樋上 正晃 小川 圭一 神戸 信人
9:55	2	流入路別信号現示の適用とその考察 (実務論文)	○岩岡 浩一郎 新倉 聡
10:20	3	信号制御定数見直しのためのプローブ情報の活用可能性 (実務論文)	○塚田 悟之 新倉 聡 福島 正夫
10:45	4	インターチェンジ合流部における合流整流化対策と効果検証 (実務論文)	○澤田 英郎 稲田 悠 亀井 伸二 福本 薫
11:10			
11:20	5	江北JCTにおける規制車による可変チャネルレーン導入効果の分析 (実務論文)	○池田 博久 浅野 靖 竹平 誠治 田中 翔太
11:45	6	東京外環自動車道と階層構造を成す重交通国道298号の交通規制計画と運用 (実務論文)	○後藤 誠 服部 浩彦 山本 亜沙実 奈良 康平
12:10	7	ITSスポットを用いた特殊車両の走行状況確認方法の提案と実験データによる検証 (実務論文)	○鈴木 彰一 田中 良寛 佐治 秀剛 牧野 浩志
12:35			

5. 道路計画・交通流(1) 座長：高宮 進(国土技術政策総合研究所) 副座長：西内 裕晶(長岡技術科学大学)			
9:30	29	群馬県におけるLED道路照明実証実験と道路利用者による評価 (実務論文)	○森田 哲夫 塚田 伸也 今野 勇人 湯沢 昭
9:55	30	一般道路の道路構造が旅行速度に及ぼす影響に関する実証的分析	○下川 澄雄 森田 紳之 小山田 直弥
10:20	31	都市内道路における旅行速度と時間信頼性の現状—広島市を事例に— (実務論文)	○瀬尾 卓也 岡本 哲典 前田 邦博 中村 英樹
10:45	32	機能的階層型道路ネットワーク計画における階層別性能目標に関する考察	○後藤 梓 中村 英樹
11:10			
11:20	33	グリッドロック現象の発生とネットワーク交通容量の低下に関する考察	○大島 大輔 大口 敬
11:45	34	プローブデータによる幹線道路の交差点待ち行列長の推定に関する研究—タイ・バンコクを事例として— 【英文論文】	○SRISAKDA NAPON 福田 敦 石坂 哲宏
12:10	35	車線交通量の均衡状態を仮定した高速道路サグ部の車線利用特性の分析	○塩見 康博 小園 達也
12:35			

9. 情報提供 座長：吉井 稔雄(愛媛大学) 副座長：井料 美帆(東京大学)			
9:30	58	交通量の変動を考慮した都市高速道路における情報提供施設の配置検討	○飯田 克弘 日笠 誠
9:55	59	高速道路のジャンクション部における図形情報板の利用状況 (実務論文)	○成嶋 晋一 Jian XING 村重 至康 福島 賢一
10:20	60	運転意図に基づく分析—合流支援情報の提供効果について—	○柳原 正実 宇野 伸宏 中村 俊之
10:45	61	低速域の走行速度観測時における所要時間情報提供の精度向上 (実務論文)	○遠藤 学史 山口 孝平 生 整
11:10			
11:20	62	ドライビングシミュレータを用いた情報提供方法の違いによるCO2排出低減効果の比較	○彭 冠露 松本 幸正 大島 達哉
11:45	63	道路交通情報を利用したドライバーの行動変容の把握調査 (実務論文)	○田波 岳彦 杉田 正俊 鶴見 英次
12:10	64	観光客を対象とした移動手段別の情報需要把握と効果的な情報提供手法の検討 (実務論文)	○田波 岳彦 杉田 正俊 鶴見 英次 長沢 信三
12:35			

13. 自転車交通 座長：山中 英生(徳島大学) 副座長：梶田 佳孝(東海大学)			
9:30	87	自転車の車道走行台数に着目した自転車利用者の車道走行意識に関する研究	○鈴木 雄 松橋 龍平 浜岡 秀勝
9:55	88	交差点における矢羽根型表示“自転車ナビライン”の試行について (実務論文)	○海老澤 綾一 久保田 博之
10:20	89	自転車の信号交差点発進挙動に関する基礎的分析	○稲垣 具志 小早川 悟 青山 恵里 松原 淳
10:45	90	自転車と左折自動車の交錯を考慮した交差点整備方式の評価—マルチエージェント・シミュレーションを用いて—	○小川 倫 高見 淳史 大森 宣暁 原田 昇
11:10			
11:20	91	利用者属性に着目した自転車の経路選択意識に関する基礎的研究	○堀 将誌 鈴木 弘司
11:45	92	自転車が歩行者のそばをすり抜ける際の速度と離隔の実態 (実務論文)	○森 健二 横関 俊也 矢野 伸裕 萩田 賢司
12:10	93	電動二輪モビリティの安全性及び快適性に関する研究	○井村 公一 小嶋 文 久保田 尚
12:35			

2. 交通安全(1) 座長：大口 敬(東京大学) 副座長：石井 宏明(国土交通省道路局)			
13:35	8	新潟支社管内の高速道路におけるドライバー特性を考慮した交通安全対策 (実務論文)	○青柳 貴司 成嶋 晋一 星野 雅幸 市川 昌
14:00	9	高速道路の対面通行区間における中央帯ラバーホールの安全性向上効果検証 (実務論文)	○小川 清香 石田 貴志 野中 康弘 米川 英雄
14:25	10	ドライビングシミュレータを用いた路側帯整備効果の予測に関する一考察	○鬼塚 大輔 大橋 幸子 木村 泰 本田 肇
14:50	11	隠れマルコフモデルによる減速マーク表示の配列効果分析	○四辻 裕文 北村 和樹 喜多 秀行
15:15			

6. 交通流(2) 座長：桑原 雅夫(東北大学) 副座長：野村 和嗣(首都高速道路株)			
13:35	36	高速道路サグ部渋滞対策に資するACCの将来性能と渋滞緩和効果 (実務論文)	○鈴木 一史 山田 康石 堀口 良太 岩武 宏一
14:00	37	渋滞意識を考慮した動的な交通流指標の提案に関する研究	○小川 将大 小嶋 文 久保田 尚
14:25	38	首都高速道路におけるピーク時間帯の需要抑制による日渋滞量の低減可能性 (実務論文)	○南 航太 割田 博 山口 大輔 吉井 稔雄
14:50	39	名古屋高速道路の都心オフランプ部における飽和交通流率低下の要因分析及び渋滞対策 (実務論文)	○山田 貴久 末次 宏基 城所 貴之 樹井 敦
15:15			

10. 運転者の認知と挙動 座長：蓮花 一己(帝塚山大学) 副座長：児島 正之(株千代田コンサルタント)			
13:35	65	バスロケータとデジナビデータによる路線バスの急減速発生状況の分析	○財津 陽亮 南部 繁樹 米田 幸司 赤羽 弘和
14:00	66	暫定2車線高速道路付加車線内における追越挙動のモデル化	○根川 拓 佐野 可寸志 西内 裕晶
14:25	67	高速道路トンネル部での追突事故リスクを高める高齢者の運転挙動	○飯田 克弘 坪井 真洋 多田 昌裕 山田 憲浩
14:50	68	仙台都市圏の東北道における工事規制内の一般ドライバーの運転挙動について (実務論文)	○鎌田 恭典 相澤 範明 安齋 潤哉 松浦 信之
15:15			

14. 歩行者交通・地区交通計画 座長：日野 泰雄(大阪市立大学) 副座長：鈴木 弘司(名古屋工業大学)			
13:35	94	歩行者行動と歩道利用状況を考慮した歩行者優先道路空間評価意識構造モデル	○長峯 史弥 柳沢 吉保 轟 直希 高山 純一
14:00	95	都市空間での行動分布特性を考慮した歩行者経路選択モデルの構築	○福山 祥代 羽藤 英二
14:25	96	ヘッドマウントディスプレイを用いた歩行環境シミュレータによる誤進入対策検討 (実務論文) <デモ有>	○永見 豊 小阪 義実 滝沢 正仁 鈴木 淳一
14:50	97	角度データに着目した歩行者動線分析手法に関する基礎的検討	○中西 航 布施 孝志
15:15			

デモンストレーション & 自主研究活動報告 <デモ有り>表示のある発表(両日分)及び自主研究活動のパネル展示を行います。

於)デモ会場

15:45	12	外周発光装置付き横断歩道標識の試験設置についての評価分析 (実務論文)	○高瀬 達夫 市川 正樹 内山 拓真
16:10	13	衝突形態を表現可能な交通シミュレーションを用いた本線料金所の交通流解析	○多田 昌裕 飯田 克弘 安 時亨 山田 憲浩
16:35	14	白紺ハットの速度抑止効果 (実務論文)	○井手 冬彦 木村 真也 戎家 隆 米川 英雄
17:00	15	京都府域の高速道路における逆走事案の実態把握と逆走発生過程の分析	○飯田 克弘 浅井 翔治
17:25			

15:45	40	車両の走行軌跡の精密観測に基づくサグ渋滞対策の検討	○福吉 龍一 武藤 憲弘 能登屋 駿人 赤羽 弘和
16:10	41	高速道路単路部における渋滞定着現象の実証的研究 (実務論文)	○石田 貴志 野中 康弘 米川 英雄
16:35	42	社会的相互作用を考慮した政策評価モデルによる渋滞対策手法に関する研究 (実務論文)	○鈴木 一史 岩武 宏一 石田 貴志 野中 康弘
17:00	43	東京湾アクアラインの渋滞対策について (実務論文)	○遠藤 元一 中川 浩 深瀬 正之 橋本 弾
17:25			

15:45	69	夜間の視環境条件が運転者の歩行者視認性に及ぼす影響の評価	○浜岡 秀勝 斉藤 実岬
16:10	70	自動車運転シミュレータ運転時における心理状態の生理的指標による評価方法についての基礎的検討	○堀 翔太 安東 直紀 辻田 奈津来 土井 勉
16:35	71	遅延ストレスと事故リスクに着目した走行環境の認識・評価モデル	○渡邊 友崇 喜多 秀行 浅香 遼 四辻 裕文
17:00	72	带状ガイドライトの設置がドライバーのメンタルワークロードに与える効果について (実務論文)	○萩原 亨 川村 彰 佐々木 伸 高木 一誠
17:25			

15:45	98	無信号横断歩道における歩行者横断実態の分析 (実務論文)	○田中 伸治 伊藤 啓介 中村 文彦 王 鋭
16:10	99	生活道路の空間構成要素と地域との関わり方が交通安全上の安心・不安に与える影響	○岡村 篤 橋本 成仁 吉城 秀治
16:35	100	生活道路におけるDynamic Speed Display Signによる速度超過・遵守情報提供の影響分析	○三村 泰広 野田 宏治 山岡 俊一 荻野 弘
17:00	101	速度調査と意識調査からのハブ設置に関する走行状況の把握	○大橋 幸子 鬼塚 大輔 木村 泰
17:25			

第34回交通工学研究発表会 第2日目【2014年8月8日(金)】プログラム

○は発表者

《第1会場》

《第2会場》

《第3会場》

《第4会場》

3. 交通安全(2) 座長：田久保 宣晃(科学警察研究所) 副座長：小川 圭一(立命館大学)			
9:30	16	通学路上における児童の交通事故発生状況の分析—千葉県船橋市・松戸市・市川市を対象として—	○樋口 恵一 小早川 悟 稲垣 具志
9:55	17	ホァン回帰モデルによる高速道路における交通事故発生リスク要因分析	○兵頭 知 吉井 稔雄 高山 雄貴
10:20	18	高速道路トンネル入口における交通事故発生要因に関する考察 (実務論文)	○楠橋 康広 坪内 正記
10:45	19	都市間高速道路における事故多発箇所の特徴分析	○平井 章一 Jian Xing 林 祐志 大近 翔二
11:10			
11:20	20	カーナビプローブデータを用いたABS多発地点の把握 (実務論文)	○福本 雅之 三村 泰広 安藤 良輔 松枝 伸彰
11:45	21	事故多発信号交差点とその周辺の施設形態に関する研究	○荻野 弘 伊藤 豊 野田 宏治 大森 峰輝
12:10	自主研究	交通事故ハザード評価法の新規開発と個人対応型対策の実証的研究	○朴 啓彰
12:35			

7. 交通情報と交通管制 座長：牧野 浩志(国土技術政策総合研究所) 副座長：福田 大輔(東京工業大学)			
	44	高速道路の所要時間算定における累積交通量の導入 (実務論文)	○石山 静樹 鶴元 史 木村 真也 米川 英雄
	45	利用者要望に基づく図形情報板デザインに向けた提示情報の表記方法比較	○飯田 克弘 面屋 菜波
	46	車間距離測定プローブを用いた都市高速道路の交通流観測実験報告	○瀬尾 亨 日下部 貴彦 朝倉 康夫
	47	空港アクセスを対象とした突発事象発生時の予測所要時間情報提供実験 (実務論文)	○松下 剛 吉川 貴信 石田 貴志 野中 康弘
	48	バスロケーションシステムデータとデジタルタグラフデータによる一般車両の走行軌跡推定	○坂本 勇太 松尾 春香 財津 陽亮 赤羽 弘和
	49	高速道路休憩施設駐車場における混雑予測モデルの構築	○藤井 篤史 宇野 伸宏 中村 俊之 山本 浩司
	50	Bluetooth通信を活用した旅行時間計測の適用可能性に関する検討 (実務論文)	○萩原 武司 玉川 大 田名部 淳 北澤 俊彦

11. 公共交通(1) 座長：中村 文彦(横浜国立大学) 副座長：鳩山 紀一郎(東京大学)			
	73	吉岡町を事例とした公共交通の整備方向に関する検討	○塚田 伸也 湯沢 昭 森田 哲夫
	74	大阪府下における「コミュニティバス」システムの変遷と地域特性に関する研究	○倉嶋 祐介 湯山 愛美 内田 敬
	75	活動機会を考慮したコミュニティバスの運行計画に関する実証的研究	○岸野 啓一 高本 恵三
	76	公共交通の整備順位評価のためのアクセシビリティ指標に関する一考察	○辻 皓平 喜多 秀行 四辻 裕文
	77	利用頻度に着目した運賃変更によるコミュニティバス利用の変化の推定—愛知県日進市をケーススタディとして—	○伊藤 真章 松本 幸正
	78	運賃低廉化に伴う公共交通需要構造の変化に関する実証分析	○吉田 樹
	79	東日本大震災被災地での鉄道復旧意識とBRTに関する考察 (実務論文)	○元田 良孝 宇佐美 誠史 湯田 直人

15. 交通行動分析・交通需要予測 座長：屋井 鉄雄(東京工業大学) 副座長：森尾 淳(一般財団法人計量計画研究所)			
	102	QOT(Quality of trip)に着目したEVのあり方に関する研究	○野口 弘毅 小嶋 文 久保田 尚
	103	EVシフト運行データを用いた走行特性・電費推計に関する分析	○兵藤 哲朗 矢原 功健 渡部 大輔
	104	停車帯設置区間での不規則路上駐停車行動に関する調査研究	○堂柿 栄輔 梶田 佳孝
	105	構造推定を援用した車線変更相互作用モデルの推定	○伊藤 篤志 柳沼 秀樹 羽藤 英二
	106	地域別方向別の時間変動係数に基づく時間帯別OD交通量の逆推定の研究	○藤田 素弘 渡邊 健 山田 真士
	107	鉄道・バス統合ネットワークへの一体配分による手段・経路別公共交通需要推計	○富田 椋 遠藤 玲
	108	統合型交通量配分モデルを用いた岐阜市における交通施策および土地利用施策評価	○郭 敏 倉内 文孝

4. 災害・防災 座長：元田 良孝(岩手県立大学) 副座長：後藤 誠(東日本高速道路株)			
13:35	22	自動車を利用した津波避難方針設計手法に関する基礎的検討	○鳩山 紀一郎 平松 大輝
14:00	23	アンケート調査による進路変更モデルの開発	○原田 英治 後藤 仁志 徐 詩涵 吉澤 友貴
14:25	24	東日本大震災における津波避難実態に基づく避難困難者の把握と対策検討—宮崎市津波浸水想定区域を対象として—	○加知 範康 新川 登志朗 塚原 健一 秋山 祐樹
14:50	25	プローブデータと渋滞統計データの融合による東日本大震災時の都区部の渋滞データの構築	○清田 裕太郎 月館 権二 岩倉 成志 野中 康弘

8. 都市交通調査とデータの展開 座長：朝倉 康夫(東京工業大学) 副座長：塩見 博康(立命館大学)			
	51	わが国における都市交通調査体系の確立過程に関する研究	○中村 英夫 羽藤 英二 岸井 隆幸
	52	郵送型PT調査における動的な予備調査票の投入手法の提案 (実務論文)	○円山 琢也 宮原 進 三ヶ尻 祐司 佐藤 嘉洋
	53	全国を対象とした携帯カーナビプローブデータを用いた右左折方向別の交差点分析 (実務論文) <デモ有>	○太田 恒平
	54	同化手法を用いたスパースな携帯基地局情報に基づく人の移動推定	○長谷川 瑠子 関本 義秀 金杉 洋 櫻山 武浩

12. 公共交通(2) 座長：喜多 秀行(神戸大学) 副座長：加藤 徹郎(株ニュージェック)			
	80	高齢者支援のための新たなバスサービスの試みとその評価 (実務論文)	○日野 泰雄 向井 一雄 水上 和也 森田 隼一
	81	乗合タクシーサービスの均衡分析とサービス変数最適化手法	○藤田 洋平 高見 淳史 大森 宣暁 原田 昇
	82	デマンド型乗合タクシーにおけるイールドマネジメント導入の影響	○川崎 智也 轟 朝幸 西山 翔太郎
	83	状態空間モデルを用いた公共交通利用者数の変動特性に関する分析—土佐電気鉄道利用者を対象として—	○西内 裕晶 小林 康之 川崎 智也 轟 朝幸

16. 都市交通計画 座長：森本 章倫(早稲田大学) 副座長：宮崎 貴雄(国土交通省都市局)			
	109	簡易なポイントアクセシビリティ指標の開発—都市機能誘導区域と居住誘導区域の設定検討に向けて—	○外園 宏介 富永 透見 谷口 守
	110	買い物弱者の買い物支援策の利用頻度と支払意思額に関する基礎的研究	○伊勢 昇 大隈 ゆき 櫻井 祥之
	111	地方都市における乳幼児連れの人々に対する意識に関する研究	○辰巳 浩 堤 香代子 藤林 航
	112	街区型環境未来都市における道路交通のスマート化に関する検討	○井ノ口 弘昭 秋山 孝正

デモンストレーション & 自主研究活動報告<デモ有り>表示のある発表(両日分)及び自主研究活動のパネル展示を行います。

於)デモ会場

15:45	26	定点観測データを用いた集中豪雨における名古屋市内の交通状況把握 (実務論文)	○田波 岳彦 平田 顕啓 杉田 正俊 齋藤 辰哉
16:10	27	次世代道路交通情報サービスによる水害時の情報提供効果の推計	○大原 美保 佐原 孝紀 藤生 慎
16:35	28	経路の多重性を考慮した道路防災機能評価手法の改良	○矢野 禎一 柳野 秀樹 家田 仁

	55	携帯電話の位置情報を活用した首都高の利用動態把握手法の研究 (実務論文)	○佐々木 卓 錦戸 綾子 足立 龍太郎 高山 敏典
	56	スパースな携帯電話通話履歴を用いたリンク交通量の推定—タカの事例	○関本 義秀 櫻山 武浩 長谷川 瑠子 金杉 洋
	57	携帯電話GPS情報を活用したOD集計に関する基礎的研究 (実務論文)	○野口 和孝 中野 裕之 岡本 哲典 前田 邦博

	84	東京圏における高齢者の外出状況と公共交通の利用実態に関する調査	○金子 雄一郎 田中 瑛
	85	中山間地域における将来の移動手段の不安に関する要因分析	○田尾 圭吾 橋本 成仁
	86	バスターミナルの更新・再整備に関する基礎的研究 (実務論文)	○永田 尚人 見明 孝徳

	113	女性に着目した家計の行動選択モデルに関する研究	○中筋 由佳 杉木 直 内田 賢悦 田村 亨
	114	自家用貨物車と営業用貨物車の駐車・荷捌き特性に関する分析—丸の内地区での駐車・荷捌き実態調査を通じて—	○岩尾 詠一郎 長田 哲平 小早川 悟